

第64回 秋田県消防大会



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



平成二十三年全国統一防火標語

消したはず 決めつけないで もう一度

田県消防大会は幕を閉じた。

中泉会長あいさつ



本日は、多くのご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを心から御礼申し上げます。

第六四回秋田県消防大会が六月二十五日(土)、鹿角市十和田「大湯温泉ホテル鹿角」で、秋田県副知事堀井啓一様、秋田県議会総務企画委員長佐藤賢一郎様など多数のご来賓を迎え、県内消防関係者五〇〇名が参加して開催された。

大会は、この度の東日本大震災で犠牲となられた方々及び殉職消防職・団員へ黙祷をささげた後、国歌斉唱で始まり、続いて、秋田県消防協会中泉松之助会長、開催地である鹿角市長小玉一様があいさつした後、ご来賓を代表して堀井副知事から祝辞をいただき、消防庁長官久保信保様のメッセージが披露された。

引き続き、平成二三年度消防功労者(優良事業所)知事表彰、第七回消防団員意見発表会が行われ、アトラクションとして花輪ばやしと鹿角民謡が披露された後、女子マラソンで日本人初の世界チャンピオンとなった浅利純子様の講演が行われた。

大会宣言を黒澤文男鹿角市消防団長が、また、次回開催支部を代表して近野宗一湯沢市消防団長があいさつを行い、最後に秋田県消防の歌「われら あり」を斉唱して第六四回秋

この度の東日本大震災では、二万三、一〇四人もの死者・行方不明者を出す未曾有の大惨事となり、被災地では今なお、原発事故による放射性物質の汚染、余震の続発などで不安な生活が続いています。一日も早い復旧・復興を望んでいます。

この大震災での消防職・団員の活動は、多くの国民から高い評価を受け、大災害時における消防活動の重要性が改めて認識させられました。私達消防人は、県民の安心・安全の確保という強い願いに応えるために、日頃の訓練に一層励み、あらゆる災害に対応できるよう、全力で取り組んでいかなければならないと、決意を新たにしているところでです。

別表 「第7回消防団員意見発表会」
発表テーマと発表者

支 部 名	発表テーマと発表者
鹿 角	『日々、自己研さん』 鹿角市消防団 班長 斉藤 良二
大館北秋田	『地域住民と消防団との関わり』 上小阿仁村消防団 団員 北嶋 秀一
能代市山本郡	『消防団は第二の家族』 三種町消防団 副分団長 工藤 秀易
男鹿潟上南秋	『新兵の一年』 井川町消防団 団員 遠間 功
秋 田 市	『あの決意から今』 秋田市消防団 副団長 鳥海 一房
本 荘 由 利	『最後のポンプ車操法』 由利本荘市消防団 分団長 菊地 広幸
大仙市仙北市 美 郷 町	『私を育ててくれた消防団』 仙北市消防団 分団長 戸澤 幸作
横 手 市	『地域に根ざした消防団を目指して』 横手市山内消防団 部長 高橋 隆
湯沢市雄勝郡	『我が横堀分団を顧みて』 湯沢市消防団 分団長 佐々木長一



平成二三年度消防功労者
(優良事業所)知事表彰

優良事業所とは、消防団員が相当数
在職し、地域の消防活動に積極的
に取り組んで
いるなど、多
年にわたる地
域消防団活動
への貢献が評
価された事業
所のことで、
今年度は二事



業所が知事表彰を受賞された。
株新東組 鹿角市
従業員数 二七名
消防団員数 九名

平成二一年六月、六名が機能別団
員として入団。東日本大震災では消

防本部の要請により、大型エンジン
発電機を提供し、電源確保に協力。
秋田クリーンサービス(株) 秋田市
従業員数 四一五名
消防団員数 四名

秋田市消防団協力事業所に認定。
団員の地域消防活動への積極的参加
を推奨。

第七回消防団員意見発表会

意見発表会は、各支部から選出さ
れた九名の団員が、日頃の消防団活
動を通じ感じた事柄や経験した事例
などを基に、これからの消防団活動
に対する提言等を行った。中には、
分団一〇年の歴史をユーモアを交
えて紹介し、消防団活動の重要性を
訴えた発表者もいた。

発表者とテーマは別表のとおり。
発表された意見は、「消防秋田」八
月一五日号から順次紹介する。

アトラクション



に雅な踊りが花を添えた。

アトラクションは、鹿角市の代表的な民俗芸能で日本三大ばやしに数えられている花輪ばやし。鹿角市職員花輪ばやし同好会により披露され、勇壮な囃子

田みすじ会」による鹿角民謡が披露され、同会の会員である鹿角市消防団長の尺八と副団長の歌声が参加者を魅了した。



講演

「マラソンとともに」

浅利 純子様

① 浅利さんは、マラソンを本格的に始めたころ、次の三つのことを守ろうとしていたそうです。
① 目標を持つこと



- ② 挨拶をキチンとすること
 - ③ 感謝の気持ちを忘れないこと
- そして、何よりもこれらを守ろうという強い思いが必ずや要であること。

浅利さんの想いの強さが、彼女をアトランタオリンピック女子マラソン出場へと導き、優勝シーンの映像には会場から拍手がわき起こっていました。

屋外展示

大会会場の屋外には、大正期から戦前にかけて活躍した「腕用ポンプ」、この「腕用ポンプ」の後を引き継ぎ主流となった「手引ポンプ」、そして県内最古のポンプ車「ダッチ消防ポンプ自動車」が展示され、多くの参加者の注目を浴びていた。



この「ダッチ消防ポンプ自動車」は昭和一二年から昭和五〇年までの三八年間、地元鹿角市毛馬内地域はもとより、隣接する大館市、小坂町まで出動した記録が残っている。

平成二二三年度春の叙勲
第一六回危険業務従事者叙勲

消防功勞による叙勲の受章者が発表され、本県関係では春の叙勲二二名、危険業務従事者叙勲八名の計三〇名の方が栄えある受章に輝いた。

平成二二三年春の叙勲

■瑞宝双光章

元横手市大雄消防団

團長 加藤 周一

元潟上市消防団

團長 鎌田 健一

元東成瀬村消防団

團長 佐々木 清

元稲川町消防団

團長 佐藤 榮介

元小坂町消防団

團長 本田 隆爾

元藤里町消防団

團長 淡路 龍美

■瑞宝双光章

元秋田市

消防司令長 鳥海 定

元湯沢雄勝広域市町村圏組合

消防司令長 菅野 欽治

元本荘地区消防事務組合

消防司令長 保科 正彦

第一六回危険業務従事者叙勲

元河辺町消防団

分団長 二木 桂

元能代市消防団

分団長 西村 庄右衛門

元秋田市消防団

分団長 嵯峨 鉄夫

元大内町消防団

分団長 堀 清志

元秋田市消防団

分団長 三浦 利男

元本荘市消防団

分団長 大場 孝

元山本町消防団

分団長 池内 兼信

元太田町消防団

分団長 伊藤 長一

元森吉町消防団

分団長 柴田 豊吉

元比内町消防団

平成23年度 秋田県消防操法大会支部大会日程

支部名	開催月日	開催場所
鹿角	7. 3(日)	鹿角市役所駐車場
大館北秋田	7. 24(日)	(旧)国体アーチェリー会場
能代市山本郡	7. 31(日)	能代港下浜岸壁埠頭
男鹿潟上南秋	7. 31(日)	秋田海陸運送株式会社船川5号定温倉庫敷地
秋田市	7. 10(日)	秋田市消防訓練場(秋田市御所野)
本荘由利	7. 23(土)	にかほ市消防庁舎前広場
大仙市仙北市美郷町	7. 16(土)	大仙市 雄物川運動公園
横手市	7. 24(日)	スタジアム大雄 駐車場
湯沢市雄勝郡	7. 23(土)	湯沢河川敷運動広場 松ノログラウンド

支部訓練大会等始まる

〓 全県大会出場を目指して〓

第四八回秋田県消防操法大会は、来る九月八日(木)、由利本荘市の秋田県消防学校で行われる。この全県大会への出場をかけ、支部大会がいよいよ開催される。皆さんの健闘を祈る。

■瑞宝单光章

元男鹿地区消防一部事務組合

消防司令長 鈴木 吉美

元鹿角広域行政組合

消防司令長 奥村 多喜男

元湖東地区行政一部事務組合

消防司令 伊藤 春男

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンパイホース
トーハツポンプ	シバウラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

平成23年度消防団員数の概要

秋田県総合防災課では、この度平成23年4月1日現在の消防団員数を公表したので、その概要をお知らせします。

1. 消防団員数は 17,875 人

消防団員数は減少傾向にあり、前年同期比 154 人減の 17,875 人となりました。
条例定数充足率は 88.6%、被雇用化率 (サラリーマン化率) は 70.9%となっています。

	H18. 4. 1	H19. 4. 1	H20. 4. 1	H21. 4. 1	H22. 4. 1	H23. 4. 1
消防団員数	18,712人	18,369人	18,191人	18,052人	18,029人	17,875人
前年同期比	- 348人	- 557人	- 178人	- 139人	- 23人	- 154人
条例定数充足率	88.83%	89.01%	89.10%	89.37%	89.40%	88.64%

2. 女性消防団員は 23 人増の 199 人

女性消防団員は年々増加し、199 人となりました。

また、女性消防団員を採用している消防団は、新たに大仙市消防団 (24 人)、八峰町消防団 (2 人) が加わり、計 17 消防団となり全県 32 消防団の半数を超えました。

	H18. 4. 1	H19. 4. 1	H20. 4. 1	H21. 4. 1	H22. 4. 1	H23. 4. 1
女性消防団員数	95人	107人	119人	150人	176人	199人
前年同期比	+ 9人	+ 12人	+ 12人	+ 31人	+ 26人	+ 23人
女性団員採用消防団数	7団	10団	11団	14団	15団	17団

3. 機能別団員は 3 消防団、153 人

機能別団員制度が県内で導入されたのは平成 19 年度になってからのことで、平成 23 年 4 月 1 日現在、3 消防団で 153 人が採用されています。

	H18. 10. 1	H19. 10. 1	H20. 10. 1	H21. 4. 1	H22. 4. 1	H23. 4. 1
機能別団員数	-	34人	49人	54人	112人	153人
前年比	-		+ 15人	+ 5人	+ 58人	+ 41人
機能別団員制度導入消防団数	-	2団	2団	2団	3団	3団

あなたの想いで、守れる街がある。
あなたの想いで、救える命がある。
あなたの想いで、深まる絆がある。



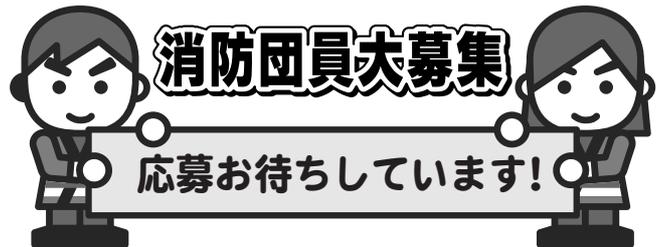
消防団員募集

消防団員募集の手続き等については、各市町村等で定められていますので、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄の消防署にお問い合わせください。

お問い合わせ先・電話番号

制作 財団法人 消防科学総合センター 監修 総務省消防庁 消防団協力事業所表示制度

宝くじの収益金は、身近な街づくりに役立っています。



東日本大震災で、多くの消防団員は住民の避難誘導や救助、救出などに懸命の活動を繰り返して、そして現在は、災害復旧・復興に取り組んでいます。このような消防団員の献身的な活動は、多くの国民から高い評価を

受けています。皆さん、『自分たちの町は、自分たちの手で守る』消防団員になりませんか。

消防団は、地域防災の中核的存在で、地域の安全・安心を確保していく上で大変重要な組織です。多くの方に消防団活動への理解を深めていただき、一人でも多くの方が消防団に入団されることを期待しています。

応募の条件等につきましては、市町村の消防担当課か消防本部へお問い合わせ下さい。

平成23年度消防団員数 (平成23年4月1日現在)

(単位:人、%)

地域名	消防団名	条例 定数	実 団 員 数				定数 充足率	女性 団員率	前年同期比較	
			総数	男性	女性	うち 機能別 団員数			団員数	増減数
鹿 角	鹿角市	892	821	802	19	40	92.04	2.31	851	- 30
	小坂町	190	163	163	0	0	85.79	-	168	- 5
	地域計	1,082	984	965	19	40	90.94	1.93	1,019	- 35
北秋田	大館市	1,280	1,088	1,036	52	0	85.00	4.78	1,120	- 32
	北秋田市	870	769	769	0	0	88.39	-	784	- 15
	上小阿仁村	120	102	102	0	0	85.00	-	107	- 5
	地域計	2,270	1,959	1,907	52	0	86.39	2.65	2,011	- 52
山 本	能代市	850	744	732	12	0	87.53	1.61	747	- 3
	藤里町	125	123	123	0	0	98.40	-	122	+ 1
	三種町	507	422	416	6	0	83.23	1.42	434	- 12
	八峰町	281	260	258	2	0	92.53	0.77	253	+ 7
	地域計	1,763	1,549	1,529	20	0	87.86	1.29	1,556	- 7
南秋田	男鹿市	820	776	772	4	0	94.63	0.52	778	- 2
	潟上市	508	461	453	8	0	90.75	1.74	453	+ 8
	五城目町	230	197	197	0	0	85.65	-	198	- 1
	八郎潟町	127	83	83	0	0	65.35	-	83	± 0
	井川町	160	141	141	0	0	88.13	-	148	- 7
	大潟村	52	51	51	0	0	98.08	-	52	- 1
	地域計	1,897	1,709	1,697	12	0	90.09	0.70	1,712	- 3
秋 田	秋田市	2,100	1,974	1,958	16	0	94.00	0.81	1,984	- 10
由 利	由利本荘市	1,802	1,666	1,665	1	90	92.45	0.06	1,648	+ 18
	にかほ市	650	594	575	19	23	91.38	3.20	589	+ 5
	地域計	2,452	2,260	2,240	20	113	92.17	0.88	2,237	+ 23
仙 北	大仙市	1,691	1,346	1,322	24	0	79.60	1.78	1,328	+ 18
	仙北市	767	625	616	9	0	81.49	1.44	632	- 7
	美郷町	448	408	408	0	0	91.07	-	415	- 7
	地域計	2,906	2,379	2,346	33	0	81.87	1.39	2,375	+ 4
平 鹿	横手市横手	550	456	453	3	0	82.91	0.66	459	- 3
	横手市増田	289	268	268	0	0	92.73	-	275	- 7
	横手市平鹿	500	446	435	11	0	89.20	2.47	451	- 5
	横手市雄物川	507	466	466	0	0	91.91	-	469	- 3
	横手市大森	285	241	241	0	0	84.56	-	252	- 11
	横手市十文字	550	481	479	2	0	87.45	0.42	486	- 5
	横手市山内	183	165	165	0	0	90.16	-	157	+ 8
	横手市大雄	234	203	198	5	0	86.75	2.46	201	+ 2
	地域計	3,098	2,726	2,705	21	0	87.99	0.77	2,750	- 24
雄 勝	湯沢市	1,865	1,700	1,694	6	0	91.15	0.35	1,734	- 34
	羽後町	513	453	453	0	0	88.30	-	466	- 13
	東成瀬村	220	182	182	0	0	82.73	-	185	- 3
	地域計	2,598	2,335	2,329	6	0	89.88	0.26	2,385	- 50
計	32消防団	20,166	17,875	17,676	199	153	88.64	1.11	18,029	- 154

第六五期初任教育 秋田県消防学校

入校式から一ヶ月が経過した第六五期初任教育入校生の思いを、入校生が作成した新聞から紹介する。



総代
本間 敬浩
大館市消防本部

四月六日。これから六ヶ月の間を一緒に勉強、訓練、生活していく九二名は、どんな消防士になるのか？なれるのか？期待と不安で入校式を迎えた。

学校長、関係各位の激励と心構えを聞き、これからの消防士としてのあり方を胸に刻んだ。改めて人として自立し、地域住民からの信頼に値する消防士になることを自覚した第六五期は、特別な意味を持つメンバーとなった。

私達はまだまだ半人前以下ですが、一つのチームとして色々な障害、訓練をクリアし、また切磋琢磨し、卒業する頃には即戦力になりたいと思います。



副総代
大友 泰隆
由利本荘市消防本部

入校当初は半年の学校生活が長期

間であるように感じられたが、一ヶ月が経過した現在、思ったよりも早く半年が過ぎ去るような気がしています。

慌ただしく一日が流れ、気づけばあつという間に帰宅の金曜日を訪れる。特に最初の二週間あたりは目眩がしそうなほどでした。「自分はこの生活についていけないのだろうか」という不安は、一ヶ月経った今も小さくなっていませんがどうにかしてしまっています。

最近では、やるべき事の多さに思いを新たにしているところ。これからは目標に夢中で取り組んでいくのでしようが、ずっと先に見すえた目標、入校当時の決意あるいは志望動機を思い出し、日々の講義、訓練のパフォーマンス向上を目指します。



副総代
藤原 章人
大館市消防本部

日々新しい訓練の連続で毎日が新鮮です。ただ教官の方々にしきりに言われる「現場だったら」と言う言葉に対して自分も含めまだまだ皆の意識が足りていません。普段の訓練でどれだけ現場をイメージするかで意識だけではなく行動も変わるはず、だと言われました。

一ヶ月が過ぎ、仲の良い関係も築き始めた仲間を、これからはお互い

を高めあえる関係へとシフトさせていかなくてもなりません。誰一人欠ける事無く各所属に帰った時に、当たり前の事を当たり前に出来るようにする為、総代をアシストし、皆の潤滑油になるのが自分の役目であると思っています。



会計
田中 宏和
北秋田市消防本部



会計
鑑 文成
湖東地区行政一部事務組合消防本部

早いもので約一ヶ月経過し、入校当初は不安もありましたが、今現在は仲間同士の責任感や連帯感が生まれてきており、切磋琢磨しながら頑張っています。

教官の方々は時には厳しいですが、消防技術、知識などを実務訓練や勉強を通してながら教えて頂いており、また放課後の時間は、ほとんどの学生は、もう一つ消防士の資質として必要な体力を付けるために、走り込みや屋内訓練場で体力錬成に励んでいます。

九月十六日には九二名全員が、無事に卒業という最高の形で締めくくればと思っています。そして今まで育ててくれた両親をはじめ、地域の皆様に対する感謝という気持ちを忘れずに、恩返しをしていきたいと考えています。

旗ヶのれん 団ケ物専
帯ゼツ染 天旗名入
半旗・タオ 天勝類
防優手旗 防勝手旗

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

消防学校に入校して一ヶ月が経過しました。それぞれが消防学校生活にも慣れてきましたが、ほどよい緊張感を維持し、有意義な訓練を行っていきたいと思います。また、消防は仲間との連携が重要なことから、訓練や日常生活を通じて信頼関係を強めていき消防学校卒業後も一生付き合うことができる友を作りたいと思います。

私は、二組の会計に任命していただきました。九月の卒業までの六ヶ月間、責任を持って全力で会計業務にあたらせていただきます。

防災対策シリーズ⑧

風水害対策

台風・豪雨対策10カ条

=台風・豪雨が近づいたら、これだけはやっておこう！=

台風や豪雨は、予知が難しい地震と違って或る程度、襲来時期や規模を予測することができます。普段から、気象情報に十分注意するとともに、以下のような対策を講じておきましょう。

1 台風や大雨に関する情報を注意深く聴く。
ラジオは必ず携帯を。

2 むやみに外出しない。外出していたら早めに帰宅する。

3 家の周囲を一周し、飛ばされそうなものは室内に取り込むか、しっかりと固定する。

4 戸や窓の隙間に、ビニールテープを貼る。
雨戸があれば閉める。

5 停電に備えて、懐中電灯やローソクを用意する。
予備の電池も忘れずに。



6 いつでも避難できるように、非常持ち出し袋を用意する。
また、断水に備えて、飲料水を数日分確保する

7 浸水に備えて、家財道具をできるだけ高い場所に移動する。
タンスの引き出しや押し入れの下の段のものは、上の段に移す。

8 病人、乳幼児、お年寄りなどは、安全な場所に移動する。

9 ガスの元栓は必ず締める。

10 家族でもう一度、避難場所と避難コースを確認し合う。



避難するときの注意点

①動きやすく安全な服装で

- ヘルメットや防災ずきんで頭を保護しよう。
- 靴はひもで締められる運動靴を。裸足、長靴は厳禁です。

②足下に注意を

- 水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が。
- 長い棒を杖代わりにして、確認しながら歩きましょう。



③単独行動はしない

- 避難するときは2人以上で。
- はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。

④深さに注意

- 歩行可能な水深は男性で約70cm、女性は約50cm。
- 流れが速い場合は、40cm位でも危険。

⑤子どもや高齢者に配慮する

- 高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を付けさせて、安全を確保しましょう。

支部情報アラカルト

訓練の近況報告

湯沢市雄勝郡支部

水防訓練 (五月二十九日)



木流し工法

この訓練は、出水期を迎えるこの時期に、水防機関の水防技術の向上と体制の強化を図るとともに、地域住民に対する水防

の重要性についての認識を高め、理解と協力を得ることを目的に、毎年実施しているものであります。

当日の講師には(社)全国防災協会所属の水防専門家の方二名をお迎えし、湯沢雄勝

管内の消防職・

団員約一〇〇名が集まりま

して、実践に即した効果的

な「木流し工法」「積み土の

う工法」の二工法を習得いたしました。



積み土のう

今回の訓練も、技術の習得はもちろんのこと、住民生活の平穏と安全を守るために、出水期の災害に備える意識を強く持てた、実りあるものとなりました。

消防団員教養訓練講習会 (六月一日)

消防人としての教養力向上を目的として行っているこの講習ですが、当日は雨風が吹くあいにくの天候の中、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防署員を講師に、規律・ポンプそれぞれの基本動作を一つ一つ丁寧に指導いただきました。

参加した消防団員約二〇〇名は、皆真剣に講習を受け、消防活動における基礎をしっかりと学びました。

受講した団員からは、「入団から今まで流れたな動きで活動していたが、今回初めて受講し、基本的な動作を知ることができ、大変な became った。」との声が多く聞かれました。この講習により、消防人としての教



ポンプ操法

養を深めるとともに、技術の練磨向上が図られ、防災体制の一層の充実強化に繋がっています。(情報提供) 湯沢雄勝広域市町村圏組合(消防本部)

火災の発生状況

速報値

(秋田県総合防災課調べ)

	平成 23 年		平成 22 年			同期比較	
	6 月	累計	6 月	累計	年計	6 月	累計
建 物	16	114	25	132	235	- 9	- 18
林 野	2	11	5	12	13	- 3	- 1
車 輦	6	18	1	11	27	5	7
そ の 他	6	26	8	37	57	- 2	- 11
合 計	30	169	39	192	332	- 9	- 23
死 者 数	2	24	0	10	20	2	14
負 傷 者 数	3	28	8	35	58	- 5	- 7

協会事務局お休みのお知らせ

今年のお盆休みは八月二日(金)から一五日(月)までとし、協会事務局を休ませていただきますので、よろしくお願ひします。



地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

森田 ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494